

--	--	--	--	--

多死社会インフラへの行政対応一

墓地・埋葬政策と多様化する葬送対策

～墓地の需要予測・計画策定・開設・運営と納骨堂、終活支援サービス～

- 墓地埋葬法の運用課題と新しい墓地埋葬秩序の理念構築
- 自治体政策としての墓地の需要予測手法と計画策定、施設基準、許可業務
- 一部事務組合による稲城・府中メモリアルパーク開設一多様化するニーズに対応した墓地計画
- 増える納骨堂と墓地の変遷一その背景・現状と今後の展望・課題
- [大和市] 新・おひとり様などの終活支援サービス一経緯、内容、対象者、相談事例

2018年11月14日(水) 10:00~16:50 日本教育会館・会議室(東京・千代田区)

- 【講師陣】
- 森 謙二** 氏 / 茨城キリスト教大学名誉教授
 - 横田 睦** 氏 / 公益社団法人全日本墓園協会主任研究員
 - 椋田 佳代** 氏 / 毎日新聞社生活報道部記者
 - 内田 宏康** 氏 / 稲城・府中墓苑組合事務局長(東京)
 - 五ノ井 博之** 氏 / 大和市 前健康福祉部長(神奈川)

【参加要領】

■ 会場：日本教育会館・会議室
東京都千代田区一ツ橋2-6-2
(案内図は申込後送付)

■ 参加費(1名分)

	1名参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	25,000円
一般	35,000円	35,000円

- 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い
- みずほ銀行麹町支店 普通1159880
- 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
- 三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767
- 郵便振替：00110-8-81660 口座名：(株)地域科学研究会

■ 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい
(FAX・郵送・メール等)

※メディア参加申込の方へは研修会開催後に音声CD(講演収録)と資料及び請求書をお送りします。
なお、メディアCDには椋田氏(毎日新聞社)のご講演は収録されません。
※参加費の払い戻しは致しませんので、申込まれた方のご都合が悪い場合は代理の方の出席またはメディア参加とさせていただきます。

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方は当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ



東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106
TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082
<http://chiikikagaku-k.co.jp/>

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp 2018年 月 日

■ 研修会『墓地・埋葬政策と多様化する葬送対策』への参加 当日参加 メディア参加

勤務先

連絡担当者

所在地

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

(通信欄) ○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)
必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)
請求書等宛先名：_____

時	講義内容
10:00 ～ 11:10	<p>墓地埋葬法の課題と墓地行政―市町村へのアンケート調査から</p> <p style="text-align: right;">茨城キリスト教大学名誉教授 森 謙二 氏</p> <p>1. 市町村を対象に実施したアンケート結果 ～自治体の墓地経営から見えてきたこと～</p> <p>2. 墓地埋葬法と現実の乖離について</p> <p>3. 新しい墓地埋葬秩序の理念の構築 ～墓地埋葬法の目的から考察する～</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr/> <p>【森 謙二氏プロフィール】 1965年明治大学法学部、1970年同大学院博士課程修了。茨城キリスト教大学文学部文化交流学科教授、現名誉教授・学術研究センター特別研究員。厚生労働省「これからの墓地等の在り方を考える懇談会」委員、沖縄県墓地公園整備基本指針検討委員会委員、日本学術会議第2部基礎法研究連絡委員会委員、日上市少子化対策推進会議委員長、比較家族史学会会長などを歴任。主な著作に、『墓と葬送のゆくえ』（吉川弘文館）、『現代日本の葬送と墓制―イエウキ時代の死者のゆくえ』（吉川弘文館）など。</p>
11:20 ～ 12:40	<p>墓地・埋葬制度と自治体政策 ～墓理法運用と墓地の需要予測、計画策定～</p> <p style="text-align: right;">公益社団法人全日本墓園協会 主任研究員 横田 睦 氏</p> <p>1. 墓地を計画するにも、墓地の許可をするにも求められる「必要数の把握」 平成23年〔健発0830 第1号〕「地域の自主性及び自立性を高めるための改革を推進するための関係法律の整備に関する法律の施行について」に伴い、新たな局面を迎えた墓地・埋葬制度</p> <p>2. 必要数＝需要数を推計するにはどの様な方法があるのか 大掛かりなアンケート調査等も行うことなく、実務担当者が使える「推計方法」とは</p> <p>3. 推計した結果を、計画、あるいは許可業務への投影 (1)公営・民営墓地、各々に求められる役割とは (2)現行の「施設基準」は適切なのか (3)墓地計画と、その許可に対して求められる毅然とした姿勢―最高裁判例が認めた「墓地反対運動」の非合理性</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
13:30 ～ 14:30	<p>納骨堂増加の背景・現状と課題</p> <p style="text-align: right;">毎日新聞社生活報道部記者 椋田 佳代 氏</p> <p>1. なぜ今納骨堂なのか</p> <p>2. 納骨堂の推移と墓地の変遷</p> <p>3. 参拝者の声―東京都荒川区のある寺の事例から</p> <p>4. 今後の展望と課題</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p>
14:40 ～ 15:40	<p>一部事務組合による「公営 稲城・府中メモリアルパーク」の設置と管理運営 ～合葬式墓地等4つの形態による多様化するニーズへの対応～</p> <p style="text-align: right;">稲城・府中墓苑組合事務局長 内田 宏康 氏</p> <p>1. 公営 稲城・府中メモリアルパークの概要</p> <p>2. 管理運営</p> <p>3. 一部事務組合設立の経緯 (1)墓地設置基本構想と実施計画 (2)墓地需要予測と供給計画・財政計画</p> <p>4. 墓地使用者応募状況の推移</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr/> <p>【公営 稲城・府中メモリアルパークについて】 稲城市と府中市で構成する一部事務組合である「稲城・府中墓苑組合」が運営する墓地及び葬儀・法要施設。多様なニーズに合わせて使用できるよう、芝生墓地・普通墓地・合葬式墓地・樹林式墓地の4つの形態の墓地を配置している。 【施設の概要】2015年10月開設。敷地面積25,510㎡。平面墓地（芝生墓地2,955区画、普通墓地353区画）、集合墓地（合葬式墓地5,036体、樹林式墓地1,500体）、葬儀式場・法要室・霊安室、休憩所など。</p>
15:50 ～ 16:50	<p>「おひとり様などの終活支援事業～人生の卒業準備を応援します!」について</p> <p style="text-align: right;">大和市前健康福祉部長 五ノ井 博之 氏</p> <p>1. 事業を始めた経緯 ～「葬儀生前契約支援事業」をリニューアル～</p> <p>2. 「おひとり様などの終活支援事業」とは ～行政コストをかけずに市民の想いをバックアップ～</p> <p>3. これまでの相談事例から ～もう「自分の死を考えること」はタブーでなくなった～</p> <p>4. 今後の取り組み ～もっと多くの想いに応えられる大和市へ～</p> <p style="text-align: right;">【質疑応答】</p> <hr/> <p>【おひとり様などの終活支援事業について】 平成28年より一人暮らしの方や夫婦・兄弟姉妹のみで暮らす市民を対象に、葬儀の生前契約や安否確認、死亡の事実やお墓の場所などの情報を市が必要な人に連絡する仕組みである「葬儀生前契約支援事業」を開始。これまでに150件を超える相談を受ける。平成30年6月からは、経済的な状況や親族の有無といった条件を外し、事業を拡大して取り組む。</p>